

野田

基礎データ

【人口】3,508人(H21.10.31現在)
 【世帯】898世帯(H21.10.31現在)
 【面積】約1,745ha
 【公共施設】野田保育園・野田小学校・野田中学校・サンテパルクたはら・仁崎海水浴場・馬草港
 【史跡】大アラコ古窯跡・山崎遺跡・向山古墳群・阿志神社
 【主な産業】農業



●西山から三河湾を望む

校区の概要

野田校区は、田原市の中央部に位置し、古くから米作りを中心とした生活が営まれてきましたが、近年は施設園芸・畜産・野菜を中心とした農業に変容してきました。



●施設園芸(カーネーション)

明治43年に全国模範村として表彰を受けてから、来年で百周年となります。その間、昭和57年には「農林水産祭 豊かなむらづくり部門」において内閣総理大臣賞を、平成17年には、文部科学大臣から優良公民館表彰を受賞しています。また、平成14年には、かねてからの念願であった「野田史」を発刊することができました。



●野田史

校区は、13の地区で構成され、子どもからお年寄りまでのつながりを重視した地域運営を行っています。毎月25日には、各地区において

定例集会を開催し、連絡事項などの周知徹底を図っています。

まちづくり推進計画

「和」「輪」「環」と笑顔で 明日を創る田原のド真ん中、野田校区」を将来像に、「住みやすく美しい、快適な地域」「生き生き働く、活力ある地域」を目指しています。そのために、昭和55年に定めた農地土地利用についての「申し合わせ事項」を見直しました。また、基幹産業の一つである農業(園芸施設・畜産・露地)の発展や、土地利用の適正化、生活環境の改善をはかるため、「環境5原則」「野田校区農地土地利用計画図」を示し、総会で承認されています。



●農地土地利用の申し合わせ事項

野田夏まつり

青年会員の減少により開催不可

能となった盆踊りをなくしてしまうには、あまりにも寂しすぎ、校区が沈静化してしまうということで、実行委員会の人を中心に、各種団体の協力のもとに、子どもから大人まで全員参加の「野田夏まつり」を平成9年から始めました。



●盆おどり(サンテドーム)

まつりは毎年8月初旬に開催しており、小学生親子による手作りのみこしの練り歩きや、だんご・ポテト・ゲームなどの出店や催しがあり、家族で楽しむ昔ながらの光景が見られます。夕暮れ時からは、保育園児やレディースクラブを中心ににぎやかな盆踊りが始まり、楽しいひとときを過ごします。クライマックスは花火です。手筒花火をはじめ、芦ヶ池に写るスターマインは、感動の渦となります。この夏まつりは、従来の盆踊りを継続させるのではなく、野田校区の活性化と校区民の新たなネットワークづくりに貢献しています。